

中体連軟式野球 用具・装具規定及び運用規定作成時の共通理解事項（案）

2012/08

全中要項に記載の大会特別規定には大きな変更を加えず、一番最後に「各ブロック大会の規定を順守し参加すること」と記載する。各ブロック大会の特別規定には、以下の内容を基本（参考）として大会要項に記載するとともに、全中出場チームにもその旨を伝える。

以下の規定を全ブロック共通とするが、ブロックや都道府県の実情により違う場合は、全中の監督会議前の競技部会で報告する。（報告のあった内容はブロックの実情を考慮し、監督会議にて共通理解を得るものとする）

【基本方針】（規定の目的）

1. 公正公平に競技する。
 2. 用具による差異を無くし、平等な条件で競技する。
 3. 安全面を考慮し、危険防止に努める。
 4. 各学校や個人の経費負担が過大にならないようにする。
 5. 学生野球（義務教育の一環）であることから、華美にならないようにする。
 6. 高校野球への円滑な移行を図る。
- ※ 指導者は本規定の主旨を理解し、公平性と教育的側面を考え指導にあたる。

★新製品に関する使用制限についての決定は後日になる。購入及び使用に関しては、購入後に使用制限あることを承知しておくこと。

1. ボール

- (1) 使用するボールは（財）全日本軟式野球連盟公認球B号とする。

2. バット

- (1) 一本の木材で作った木製バットであることのほか、竹片、木片などの接合バットであること。木製については公認制度を適用しない。
- (2) グリップテープが切れていたり、明らかに止まっていないものは使用できない。
- (3) くぼみや亀裂の認められるものは使用できない。また、金属製バットのヘッドキャップや金属疲労、木製バットのひび割れなどを確認し大会に持参する。

3. ユニフォーム

- (1) 同一チームの監督、コーチ、選手は、同色、同形のユニフォームを着用する。コーチでもグラウンドへ出ない者は、平服（ポロシャツ、スラックス、帽子）を認める。女性の場合もこれに準ずる。
- (2) 選手のユニフォームには、規定の大きさの背番号をつける。
- (3) 帽子、アンダーシャツ、ベルト、ストッキング、シューズもユニフォームの一部である。
- (4) ユニフォームの背中に個人名はつけない。

- (5) ノースリーブの上着は認めない。
- (6) ロングタイプ（裾を極端に絞った変形ズボン）やすそ幅の広いストレートタイプのパンツ、ベルトレスパンツは使用できない。
- (7) 危険防止のため、アンダーソックスとストッキングを重ねて着用する。ストッキングはアーチ型の物とし、ハイカットストッキングは使用できない。また、しっかりとストッキングを見せるように着用する。
- (8) 学生野球であることから、華美なものや高価なものは控える。
(上着の全面と背面でのツートンカラー等は華美と考える。切りかえしやラインの制限は特に設けない)
- (9) 県代表として上位大会に出場する場合は、左袖に都道府県名を必ず表示する。
(全軟連盟規定は左袖に県名以外は何も付けてはいけない)
- (10) 監督、コーチも黒無地スパイク（シューズ）を着用する。
- (11) 背番号については以下の規定に従う。
 - ①監督は背番号30番を付ける。
 - ②主将の背番号は指定しない。
 - ③欠番が出る場合は若い番号から登録する。
- (12) エナメル性のベルトは使用しない。

4. スパイク

- (1) スパイクはチーム全員が同色のものを着用する。ハイカットやミドルカットについての使用制限はしない。
- (2) 黒一色（エナメル不可）とし、
- (3) ワンポイントの商標は同色とみなす。

5. グラブ

- (1) グラブ、ミット類は野球規則に準ずる。カラーグラブ、ミットは使用できない。ただし、黒色については使用できる。（色は高校野球使用制限と同じものが望ましい）
- (2) 投手用のグラブは縫い紐、しめ紐、ウェブを含む全体が一色であること。色は白と灰色以外とする。
- (3) 野手のグラブの締め紐は本体色と同系色とする。ただし、黒色と茶系色の締め紐に限って本体色にかかわらず使用できる。締め紐は長すぎないこと。親指の長さ程度にする。
- (4) 刺繍で選手個人名、番号、その他の文字を入れるなどしてはならない。
- (5) 捕球を容易にするための目的で、特殊な突起物や材質の違う物をグラブの表面に加工した形状の商品の使用は認めない。

6. ヘルメット

- (1) 打者、次打者、走者はSGマークのついた連盟公認の両側にイヤーフラップのあるヘルメットを着帽する。
- (2) 校名、校章、頭文字イニシャルを表示する。番号などの表示を認める。商標についての規定は設けない。

- (3) ボールボーイ、シートノック時にノッカーにボールを渡す生徒(選手)はいずれもヘルメットを着用する。
- (4) バットボーイ、ランナーズコーチも危険防止のためにヘルメットを着用する。
- (5) 亀裂のあるものや内側の保護パットがついていないものやパットが固定されていないものは使用できない。
- (6) チームとして、色やデザインは同一のものを着用する。

7. 捕手の装具

- (1) マスクは連盟公認のものを使用し、必ずスロートガードを装着する。ただし、スロートガード一体型のマスクは装着しなくてもよい。
- (2) 連盟公認のレガーズおよびプロテクター、SGマークのついた捕手用のヘルメットを装具する。
- (3) 膝痛軽減用パッドの使用を認める。ただし、色は黒または紺一色とする。
- (4) レガーズおよびヘルメットに亀裂や破損のあるものは使用できない。
- (5) 投球練習時の装具も(1)、(2)の規定に準ずる。(ブルペンも同様)
- (6) 急所カップを使用する。

8. 手袋、リストバンド

- (1) 野球用の手袋で打者、走者、投手以外の守備に使用できる。リストバンドを兼ねたようなものは禁止し、手首から先のものとする。
- (2) 色は白または黒色の単色のみ(高校野球ルール対応品)とする。ワンポイントの商標は同色とみなす。
- (3) リストバンドは使用できない。また、サポーター(手首や指を固定・保護する目的の物)の使用は、医療目的に限り、試合前に大会本部に申し出て許可を得る。

〈補足〉

- オーダー品等高価な物は使用しない。
- 走者時に手袋を外す場合は、自分のポケットにしまうこととし、ランナーコーチに渡すことはしない。
- 出塁時に走者用の手袋につけかえることは、試合進行の妨げになるので認めない。

9. その他の用具

- (1) サングラスの使用にあたっては、会場の立地条件などが関係することから各大会特別規定に準ずることとする。(記載のない場合は代表者会議等で共通確認をする)
- (2) レッグガード、エルボーガードは原則として使用しない。事情があり使用を希望する場合は、大会本部に申し出て許可を得る。
- (3) スプレイの使用は手袋の摩耗が激しく、打者が優位になることがあるので禁止する。
- (4) マスコットバット、鉄棒およびバットリングの球場内への持ち込みを禁止する。